

令和元年度 「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文中学生の部 優秀賞（事務次官賞）

「 日頃の備えと助け合う心が大切 」

愛知県 犬山市立東部中学校 2年 おおぼら はるひろ
大洞 晴拓

近年、全国で土砂災害が多発している。自分の住んでいる地域でいつ土砂災害が発生してもおかしくない。いつ土砂災害が起きても対応できるようにするために大切なことは何か、身を守るためにどのような行動をすればよいのか考えた。

まず「自助」だ。

自分の身を守るためにまず重要なのは、訓練などに参加して、土砂災害発生時の行動を身に付けておくことだと思う。災害が起きても落ちついて避難し安全を確保するために、しっかりと対応を頭に入れておくことが大切だ。

ただ、学校の防災訓練は地震や火災を想定したものが中心で、土砂災害を想定した訓練はほとんど無い。そのため、土砂災害への対応を身につける場は、不足しがちだ。それを補うためには、防災マップを活用することが重要だと思う。防災マップには被害の規模の予想や危険箇所などの情報が載っている。自分の家の近くの危険箇所や被害の予想を確認し、どこに、どのような経路で避難するか決めておく必要があると思う。家族でどこに避難するか話し合っ決めておくことも大切だ。

また、避難するときに持っていくものを考えて、非常持出袋を作っておくことも重要だと思う。いつでも持ち出せるところに置き、定期的の中に入っているものを点検、交換することが大切だ。

自分の住んでいる地域の地形や気候を知り、起きやすい災害を頭に入れておくことも、自分の身を守るためには必要だと思う。災害の予兆に早い段階で気づき、避難などの身を守る行動をとることができるはずだ。

次に「共助」だ。

自分の身だけでなく、助け合いながらより多くの人を守ることができると良いと思う。例えば、近所の人に避難を促し、早めに避難できるようにするというのも、共助の1つだろう。自分が危険を感じたらそれを近所の人に教えてあげることで、その人が助かることにつながるかもしれない。

教えるだけでなく、高齢者など避難が一人ではできない人を手伝ってあげることも求められると思う。荷物を持ったり、道を教えたりと、手伝えることはたくさんある。高齢者の避難は時間がかかる。そのため、より早い段階から避難を始めることが重要だ。

僕たち中学生は、災害時の活躍が求められている。僕たちは自分が共助の中心だという自覚をもって、災害時に積極的に行動する必要があると思う。だが、中学生に限らず、全ての人が共助に関わるという意識を持つことが、より多くの人を守ることにつながると思う。

学校でも、社会や家庭科などで、防災について学習した。非常持出袋など、備えられているものもあったが、一人1日2リットルの水を7日間分など、備えられていないものも多かった。備えられていないものは準備して、災害時困らないようにしたい。また、備えてあっても、点検を行っていないものもあった。定期的に点検をし、災害時確実に使えるようにしたい。

令和元年度 「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文中学生の部 優秀賞（事務次官賞）

僕の住んでいる犬山市では、今年、防災マップが配布された。避難所を改めて確認するとともに、浸水被害等の予想も知ることができた。しかし、予想を過信せず、どんな被害が発生しても対応できるようにしておきたい。ときどき防災マップを見て、危険箇所等の確認ができると良いと思う。

いつ土砂災害が発生するか分からない今、日頃から備えをしていくことが重要だと思う。また、災害が起きるまで避難しない人もいるが、災害になってからではもう遅い。避難して、何の災害も起きなかったとき、「無駄足だった。」ではなく「何も起きなくてよかった。」と思えるようにしたい。一番大切なものは命。その命を守るための最善の行動を取ることが重要だと思う。僕の家でも備えられていない部分があった。家族で話し合って、しっかり備えていきたい。